

# 関西次世代燃料フォーラムNEXT 2024

～「SAF・合成燃料」の最新動向とその理解促進に向けて～

参加無料

日時

2024年3月12日(火)13:30-16:45

会場

グランフロント大阪 北館内 (タワーC 8F)  
ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C07 (大阪府大阪市北区大深町3-1)

会場・オンラインの  
ハイブリッド開催

今、世界では、今世紀半ばのカーボンニュートラル (CN) を目指し、エネルギー安定供給との両立を図りながら、様々な取組が急ピッチで進められています。例えば、航空燃料は2030年にSAF (持続可能な航空燃料) への10%転換を求められるなど、化石燃料代替の次世代脱炭素液体燃料である「SAF・合成燃料」の市場導入は待ったなしの状況です。そのため、既存インフラの活用による国産化が可能な「SAF・合成燃料」の商用化に必要な技術の開発や実証を官民上げて取り組んでいます。なかでも関西は、コスモ石油堺製油所においてSAF国産商用化実証大規模プラントが2024年度に完成、国内初の運転開始が予定、また、ENEOS和歌山製造所でも大規模SAFプラントの建設が見込まれるなど、当該分野を先導する地域です。今般、近畿経済産業局は、その地の利を生かし、今後のマーケット展開も念頭に、関係機関・企業の最新動向についてパネルディスカッションを交えてご紹介し、内外動向も含めた多角的な情報をお届けする、「関西次世代燃料フォーラムNEXT2024」を開催いたします。是非関係の方々のご参加をお待ちしております。

## 【プログラム】

### ➤ 開会の辞 13:30-13:35

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 部長 小山 雅臣

### ➤ 講演① 13:40-14:20

「激化する国際競争と我が国次世代燃料開発の競争力強化に向けて」 (仮題)

経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課 課長 永井 岳彦

### ➤ 講演② 14:25-15:05

「SAFを中心とした次世代燃料生産技術開発動向とNEDOの取組について」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

新エネルギー部バイオマスG 矢野 貴久氏

### ➤ パネルディスカッション 15:15-16:45

『「SAF・合成燃料」の最新動向とその理解促進に向けて』

＜モデレータ＞ 矢野 貴久氏 ＜パネリスト＞ 山本 哲氏 / 南 智弘氏 / 大沼 安志氏

#### ○ 「次世代航空燃料SAF製造事業の取組み・今後の展開について」

コスモ石油株式会社 企画部 次世代事業推進グループ長 山本 哲氏

#### ○ 「エネルギートランジションに臨むENEOSの次世代燃料への取組み」

ENEOS株式会社 経営企画部 政策・渉外室 兼 低炭素液体燃料プロジェクトG シニアスタッフ 南 智弘氏

#### ○ 「出光のカーボンニュートラル (CN) への取組について」

出光興産株式会社 CNX戦略室 バイオ・合成燃料事業課長 大沼 安志氏

# 「激化する国際競争と我が国次世代燃料開発の競争力強化に向けて」

／経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課 課長 永井 岳彦

2023年2月、2050年CNに向け閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」においては、エネルギー安定供給、経済成長・国際的な産業競争力強化、脱炭素の同時実現が示され、同年6月には、水素基本戦略が改定され、次世代燃料などを含む9つの戦略分野を位置づけ、重点的な普及支援を促進するなど、国内外の取組状況を紹介します。

# 「SAFを中心とした次世代燃料生産技術開発動向とNEDOの取組について」

／NEDO 新エネルギー部バイオマスG 矢野 貴久氏

2050年カーボンニュートラルの実現のためには、燃焼しても大気中のCO2を増加させず、化石燃料の代替となる燃料の実用化が鍵になります。国際航空分野では、温暖化対策としてSAF（持続可能な航空燃料）の導入は大きく期待されており、各国でSAFの開発と導入が活発化しています。NEDOでは、実証を通じたSAFサプライチェーンモデルの構築などを推進しており、その動向と展望について紹介します。

# パネルディスカッション：『「SAF・合成燃料」の最新動向とその理解促進に向けて』

＜モデレータ＞ 矢野 貴久氏 ＜パネリスト＞ 山本 哲 氏／南 智弘 氏／大沼 安志 氏

NEDOプロジェクトマネージャーをモデレーターに、次世代液体燃料開発に取り組む石油各社から最新の開発動向についてパネルディスカッション形式にて講演をいただき、次世代液体燃料の社会実装の必要性や開発に取り組む内外最新動向についても情報発信を行います。関西においては、コスモ石油堺製油所においてSAFの国産商用化に向けた大規模プラントが2024年度に完成・運転開始を予定し、ENEOS和歌山製造所でも大規模なSAFプラント建設が見込まれているところで、関西を基軸とした次世代液体燃料の取組が推進されています。また、出光興産と神戸大学におかれては、「出光バイオものづくり共同研究部門」を神戸大学先端バイオ工学研究センターに設立され、将来のエネルギー用途展開可能性を有する油脂など、微生物を用いた開発も検討されているところです。特色ある各社の取組について、また、今後の次世代液体燃料の展望について、約90分のディスカッションを展開いたします。

## 締切

2024年3月5日（火）まで

## 人数

会場：45名（1事業者お1人）  
オンライン：300名（Teams）

## 主催

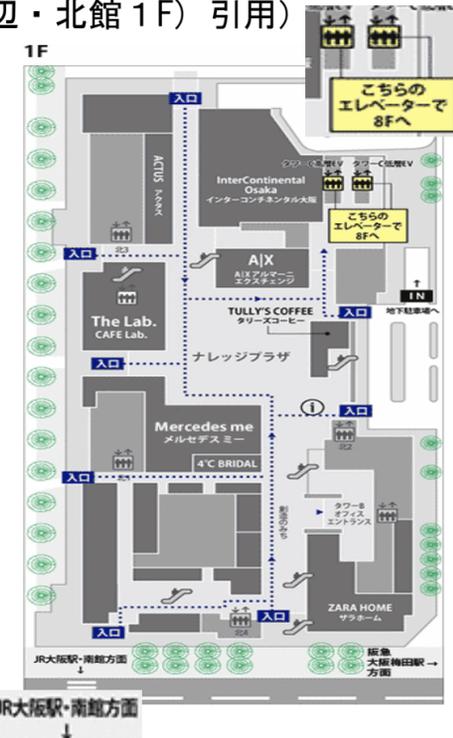
近畿経済産業局

## 協力

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) / 公益社団法人 石油学会  
／一般財団法人 石油エネルギー技術センター (JPEC) / 石油連盟

## 会場アクセス・申込み

●会場アクセス（ナレッジキャピタルHP  
アクセス図（北館周辺・北館1F）引用）



●申込みフォーム（下記URLからご確認ください。）

(URL) <https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form362>

お問い合わせ：近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 資源・燃料課 担当：高橋

〒540-8535 大阪府中央区大手前1丁目5番44号 大阪合同庁舎1号館

TEL：06-6966-6044 E-mail：bzl-kin-shigennenryo@meti.go.jp